

みんなで支えあい みんなでつくる福祉のまちづくり



社協だより

137号

社会福祉協議会とは？

社会福祉協議会は住民の皆様が安心して生活ができるよう地域が抱える福祉問題をみんなで考え、話し合い、協力して解決を図ることを目的とする民間の組織です。社協では住民主体を理念に地域の特性を踏まえて活動を進めています。



令和3年7月3日からの大雨災害により、令和3年7月5日に「熱海市災害ボランティアセンター」を設置し10月1日より「熱海市復興ボランティアセンター」として活動をしてまいりました。ボランティアニーズも終息を迎えつつあることを受け、令和4年6月30日(木)をもって「熱海市復興ボランティアセンター」を閉鎖することとなりました。

なお、今後は「熱海市社会福祉協議会ボランティアセンター」にて被災された皆様の支援に務めてまいります。

今までの活動を継続することが出来たのもボランティアに参加して下さった皆様のご協力、ご尽力があったからこそです。

皆様の活動により、発災当時より前向きに生活されている方がいます。当センター職員、スタッフ一同心から感謝申し上げます。

熱海市復興ボランティアセンターが閉鎖となっても避難生活を余儀なくされた方々からの要望や困り事の対応は継続していきます。

引き続き熱海市社会福祉協議会ボランティアセンター (0557-86-6529) へお問合せください。

社会福祉協議会事業紹介

問い合わせ 0557-86-6339



衣・食・住にお困りの方

生活困窮者自立支援事業

【自立相談支援事業】

「働きたくても働けない」「家賃を支払うことが難しい」などのお困りごとについてどのような支援が必要かを本人様と考え、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、支援員が寄り添いながら、他の専門機関と連携して自立に向けた支援を行います。

【住居確保給付金】

離職などにより住居を失った方、休業等に伴う収入の減少により住居を失うおそれが生じている方々について、就職に向けた活動をするなどを条件に、原則3か月、最大9か月、家賃相当額を自治体から家主さんに支給します。一定の要件を満たしている方が対象となりますので、お問い合わせください。

【家計改善支援事業】

家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、改善する方法と一緒に考え早期の生活再生を支援します。

【認定就労訓練事業】

直ちに一般就労することが難しい方（ひきこもり状態にある、離職期間が長い等）のために、その方に合った作業機会を提供しながら、個別的就労支援プログラムに基づき、一般就労に向けた支援を実施します。

生活福祉資金

生活福祉資金は、対象世帯の皆様に、必要な資金をお貸しし、社会福祉協議会、民生委員及び関係する機関や団体が必要な相談支援を行うことにより、世帯の経済的な自立と生活の安定を図ることを目的とする資金貸付制度です。

ご相談は熱海市社会福祉協議会で受け付けています。現在の生活状況等を伺いながらのご相談になりますので、まずはお問い合わせください。

フードバンク

「フードバンク」とは品質には問題ないものの、やむなく消費することができなかった食料を無償で提供していただき、支援団体等を通じて食べるものがなく困っている方へ食料をお渡しする活動です。当会では「フードバンクふじのくに」へ食料を依頼し食事にお困りの世帯にお渡ししています。また、市民の皆様から食料を提供していただきフードバンクふじのくにへ寄付をする「フードドライブ」活動も定期的実施しています。いずれも詳細については当会までお問い合わせください。

暮らしの不安がある方

成年後見制度

成年後見制度は、家庭裁判所が本人の権利を守る援助者「成年後見人等」を選ぶことで、本人を法的に支援する制度です。選ばれた「成年後見人等」は本人の生活・財産の状況を調べ、今後の生活をどうしていくかを本人に寄り添いながら確認します。その上で、本人の財産・生活を守るための活動をします。成年後見人等は1年に1回、家庭裁判所に本人の状況を報告する義務があります。

* 利用するにあたっては家庭裁判所に申し立てをする必要があります。

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は「福祉サービスの情報提供や利用するための手続きをお手伝い」する「福祉サービスの利用援助」を中心に、「金銭管理」や「書類等のあずかり」をして本人の生活を支えます。あくまで、本人と社会福祉協議会の契約によって実施される事業なので、契約内容が理解できないほど判断能力が低下している方はご利用はむずかしいです。



* 利用するにあたっては所定の調査・審査がございます。当会までご相談ください。

熱海市成年後見センターについて

熱海市成年後見センターでは

- 1 成年後見制度に関する相談
- 2 成年後見制度の利用申立のアドバイス
- 3 専門家による権利擁護相談（予約制）

などを行っています。

また、成年後見制度に関する「出前講座」も実施しています。「成年後見制度に関する話を聞いてみたい」方がら5人くらいいらっしゃるのであればうかがいます。まずはお問い合わせください。



身近なやりがいづくり

有償ボランティアこつこつ

「有償ボランティアこつこつ」は地域の住民同士の支えあいによる住民参加型の福祉サービスです。「こつこつ」は介護保険制度のような公的なサービスではありません。利用会員と協力会員の会員制と有償性により、熱海に住む方であれば利用できます。ご相談ください。

サービスの流れ

- 1 相談受付・訪問
- 2 協力会員を紹介
- 3 利用会員として登録
- 4 サービス開始

活動内容

ゴミ出し

買い物や通院同行

掃除

季節家具等の入れ替え

地域サロン形成支援事業

地域サロン形成支援事業は地域住民が主体的に実施する地域サロンに対し、活動の継続・発展を支援することを目的に助成金を交付する事業です。

地域サロンとは高齢者を中心にした誰でも参加ができる住民同士の交流の場のことを指します。

当会では、地域サロンに参加したい方や自分の趣味活動をサロンとしてみなさんと行いたい方を募集しています。



介護サービス室

住み慣れた環境で、安心して生活ができるよう、それぞれの立場の方の心の声に耳を傾け一緒に考えながらサービス等のご提案をしていきます。

又、地域に信頼される事業所を目指していきます。



担当者から一言

介護サービス室では、ケアマネジャーの事業所とヘルパーの事業所を運営しています。足腰が弱くなり、介護保険の利用を検討中の方、退院後からの自宅での生活に不安を感じている方、介護申請をしたが、ケアマネジャーを選んでくださいと言われて、どちらに相談をしていいかわからない方は、ぜひこちらにご連絡ください。問い合わせ先：0557-86-1112



地域福祉係



令和4年度事業計画

第5次地域福祉活動計画（地域共生プラン）「こころでつながる地域福祉」を目指し、令和3年度から6カ年計画で推進して行きます。本計画は、熱海市の行政計画である「熱海市地域福祉計画」との連動が必要であることから、両計画を合冊して策定しております。

今年度はこの計画の2年目でもあり、各事業の進捗状況や目標達成に向け3つの基本目標を設定し、主な重点事業を掲載しました。

なお、昨年7月に発生した伊豆山土石流災害の被災者への支援に向け、伊豆山ささえ逢いセンターの充実を図っていきます。

基本目標1 お互いさまから始まる思いやりのこころ・ひとづくり

優しい気持ちや相手への気遣いといった「福祉意識」の礎を引き継ぐべき、「思いやりのこころ」が確かに息づく風土を目指し、やさしさの醸成を図っていきます。

主な事業と具体的活動

- ・地域共生社会に向けた意識づくり
- ・ホームページの充実

基本目標2 共に生きる地域づくり

地域活動への参加のきっかけづくりや、人と人、人と地域をつなげるしくみづくりを推進します。

主な事業と具体的活動

- ・地域サロンが充実するよう支援します
- ・有償ボランティア「こつこつ」への支援
- ・社会福祉法人のネットワーク事業の推進
- ・災害時に備えた地域の連携
- ・伊豆山ささえ逢いセンターの充実

基本目標3 みんなにやさしいしくみづくり

既存の制度やサービスの充実に加え、分野を横断した相談体制の構築や、地域の社会資源などを活用した支援、多様な地域活動が生まれやすいよう環境を整備する支援などを一体的に実施し、地域全体で福祉を支えられる仕組みづくりを目指します。

主な事業と具体的活動

- ・重層的支援体制整備事業の推進
- ・生活困窮者の自立支援対策の充実
- ・権利擁護事業の推進
- (1) 成年後見制度の利用促進
- (2) 日常生活自立支援事業の促進

令和4年度予算

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

勘定科目		本部拠点区分	介護拠点区分	合計	
事業活動による収支	収	会費・寄付金収入	3,965,000	3,965,000	
		経常経費補助金収入	20,014,000	20,014,000	
		受託金収入	52,980,000	52,980,000	
		貸付事業等収入	344,000	344,000	
		事業収入	5,790,000	5,790,000	
		負担金収入	6,500,000	6,500,000	
		介護保険事業収入	45,268,000	45,268,000	
		障害者福祉サービス等収入	3,689,000	3,689,000	
		その他の収入	267,000	267,000	
		《経常活動収入計》(1)	89,860,000	48,957,000	138,817,000
出		人件費支出	65,931,000	37,810,000	103,741,000
		事業費支出	9,328,000	2,361,000	11,689,000
		事務費支出	5,217,000	3,615,000	8,832,000
		貸付事業支出	260,000		260,000
		共同募金配分金事業費	3,489,000		3,489,000
		助成金支出	2,116,000		2,116,000
		負担金支出	6,500,000		6,500,000
		流動資産評価損による資金減少額	84,000		84,000
		《経常活動支出計》(2)	92,925,000	43,786,000	136,711,000
		《経常活動資金収支差額》(3) = (1) - (2)	△ 3,065,000	5,171,000	2,106,000
	《施設整備等資金収支差額》	0	0	0	
	《その他活動収支差額》	△ 2,677,000	△ 1,064,000	△ 3,741,000	

※令和3年度事業報告及び収支決算につきましては、次号で掲載させていただきます。

社会福祉協議会は会費を集めています

熱海市社協の地域福祉活動は皆様からの会費によって支えられています。社協の活動に賛同し、応援いただける方は会費の納入にご協力をお願いいたします。

会員の種類と会費の金額

区分名称	金額(一口)	備考
一般会員	300円	世帯を対象とした金額
賛助会員	1,000円	個人を対象とした金額
特別賛助会員	1,000円	企業・法人を対象とした金額



熱海市伊豆山ささえ逢いセンター

熱海市伊豆山ささえ逢いセンターでは、被災者のこれからの生活を見守りながら、一日でも早く安心できる日常生活を取り戻せるよう、一人ひとりに寄り添った支援を行っております。被災者の感情に寄り添う個別支援から被災地域の人々それぞれがささえあい、地域全体で被災後の地域を再生していくための支援を行っております。

0557 - 86 - 6380

社会福祉法人 熱海市社会福祉協議会

〒413-0015 静岡県熱海市中央町1番26号
熱海市総合福祉センター2階

TEL (0557)86-6339・6340

FAX (0557)86-6341

http://www.atami-shakyo.com/

E-mail: csw-atami@po2.across.or.jp



・ジーバース
ありがとうございました。

・日蓮宗社会教化事業協会
復興ボランティアセンターへ支援金の寄附をいただきました。

皆様より金品のご寄附をいただきました。
ご趣旨を活かし、有効に活用させていただきます。
【2月11日から5月2日受付分】
順不同・敬称略

あたたかいご寄附
ありがとうございました